

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績（令和5年度）

議題(1)

評価の目的

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンに基づき、令和5年度に実施した事業の取組状況について、総合的な観点から検証・評価を実施し、適切な進行管理を行うことを目的とする。

※ ビジョン掲載79事業のうち、再掲（重複）事業5事業を除く74事業（77項目）について評価を実施。

評価について

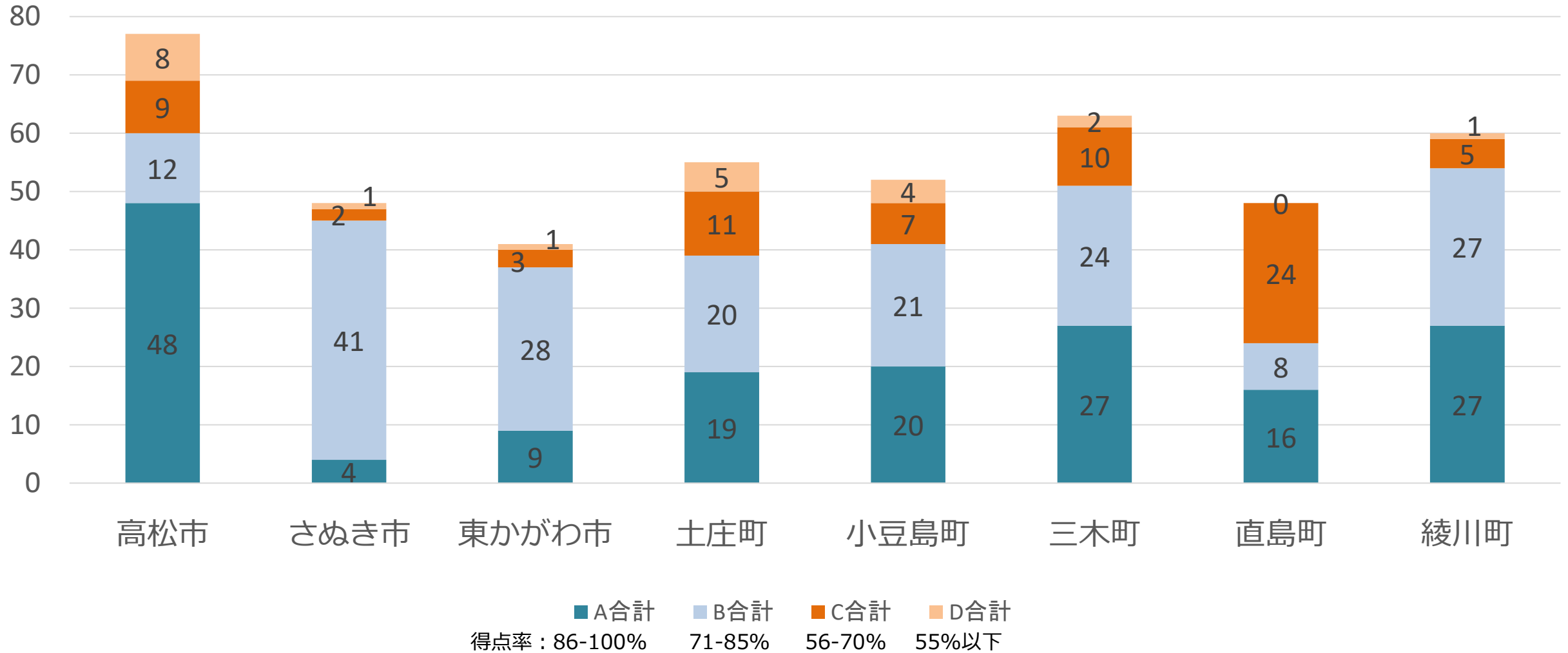
連携中枢都市（高松市）及び各連携市町が、取組事業ごとに設定しているK P I（成果指標）を基に、成果の達成度等について評価を実施。また、評価結果については、外部の有識者等で構成する「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会」の御意見等を踏まえ、P D C Aサイクルによる進行管理に活用。

評価の基準

【K P I 設定事業】	
(1) 連携中枢都市（高松市）	K P I による成果の達成度、妥当性、有効性、効率性から評価
(2) 連携市町	成果の達成度、妥当性、有効性から評価
【K P I 設定対象外事業】	
(1) 連携中枢都市（高松市）	妥当性、有効性、効率性から評価
(2) 連携市町	妥当性、有効性から評価

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績

各市町の評価状況（令和5年度）



※詳細は、参考資料「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価（令和5年度実施事業：評価結果の詳細）」参照

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績

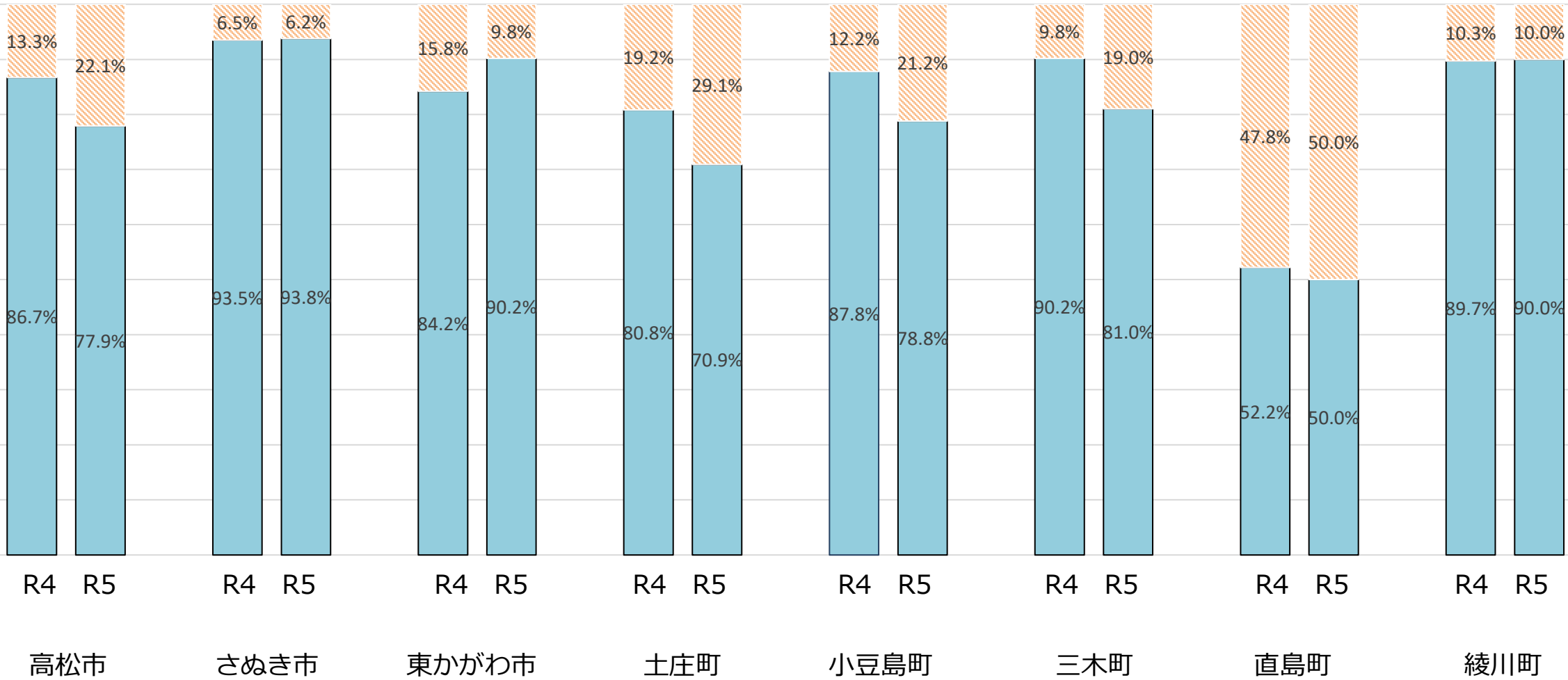
評価割合の令和4年度との比較

得点率： 71-100%

70%以下

A・B評価

C・D評価



瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績

全体的に評価が高い事業（各市町の評価が全てA・Bかつ半数以上がAの事業）

24事業

1 圏域全体の経済成長のけん引（2事業）

- 14 文化芸術鑑賞等の機会の提供
- 15 観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業

2 高次の都市機能の集積・強化（3事業）

- 16 医療人材の確保・育成
- 17 医療職員の交流等
- 18 ICカードを利用した公共交通利用促進事業

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上（19事業）

【主な事業】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 22 高松市立病院運営事業 | 53 災害時相互応援協定 |
| 26 遠隔医療ネットワークを使った連携 | 54 香川県消防相互応援協定 |
| 31 地域包括支援センター運営事業 | 57 地域防災対策事業 |
| 35 障害支援区分等審査会業務の連携 | 58 広域航空写真地図データ整備 |
| 37 移動図書館巡回事業 | 63 小型家電等リサイクル推進事業 |

全体的に評価が低い事業（各市町の評価の過半数がC・Dの事業）

4事業

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上（4事業）

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 25 島しょ部（土庄町及び小豆島町）への医師派遣事業 | 45 高松市屋島競技場の活用 |
| 30 在宅医療・介護連携推進事業 | 77 公共施設等の共同利用整備 |

令和5年度の実績のまとめ

- 令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、施設利用者やイベント参加者数等に関しては回復基調で、人が集まる事業は、コロナ禍前の形態での実施が通常化。
- 成果指標（KPI）の実績値は増加しているものの、計画期間の最終年度（令和5年度）の目標値をコロナ禍前を前提に高く設定している事業については、達成率が伸び悩むため評価に影響。
 - ・ 「8 海外誘客促進事業」の成果指標である香川県内の外国人延べ宿泊者数について、東アジア路線4路線のうち3路線が再開したため、人数が大幅増。
R4年度：35,170人 → R5年度：444,470人（目標：700,000人）
 - ・ 「12 イベント交流の促進」の成果指標であるまつり・イベント入込み客数について、多くのイベントが開催されたことにより回復したが、目標の6割弱の達成率。
R4年度：436,530人 → R5年度：759,616人（目標：1,373,200人）
- 令和5年度の新規事業である「70 ビジネスチャットツールを活用した情報共有等の促進事業」は全市町間での活用が進まなかったため高評価とならず、「77 公共施設等の共同整備事業」も具体的な取組までには至っておらず、引き続き情報の共有を図っていく。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの目標達成状況

ア 将来人口の達成状況

区 分		基準値 (平成22年10月)	目標値 (令和5年度)	実績値 (令和5年度)
総 人 口		59.4万人	57.0万人	55.9万人 ※年齢不詳1.8万人含
	年少人口(0～14歳)	7.9万人	6.8万人	6.4万人
	生産年齢人口(15～64歳)	36.5万人	31.5万人	30.3万人
	(内数)若者世代 (25～39歳)	(11.1万人)	(8.0万人)	(7.4万人)
	高齢者人口 (65歳以上)	15.0万人	18.7万人	17.4万人

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの目標達成状況

イ 成果指標（KPI）の達成状況

※1 令和3年経済センサス・活動調査を参照
※2 平成27調査から「ぜひ来たい」の項目が「ぜひ来たい」と「来たいと思う」に細分化されたため、これらを合計したもの。
※3 令和6年4月に公表された、人口動態統計特殊報告「平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計」より。
※4 圏域全体での若者世代（25～39歳）の人口は、香川県人口移動調査結果（令和5年分）を参照

	成果指標	基準値	目標値 (令和5年度)	実績値
圏域全体の経済成長のけん引	圏域における民営事業所の 従業者数 (公務を除く全産業)	273,981人 (平成26年7月1日時点)	28万人程度	268,697人 ※1 (令和3年6月1日時点)
	香川県への再来訪意向割合	48.2% (平成26年度)	60.0%	88.8% ※2 (令和5年度)
高次の都市機能の集積・強化	「JR高松駅」と「ことடன்瓦町駅」の1日平均乗降人員数	37,098人 (平成26年度) JR高松駅：24,648人 ことடன்瓦町駅：12,450人	4万人程度	合計37,464人 (令和5年度) JR高松駅:23,274人 ことடன்瓦町駅:14,190人
	高松発着の航路便数	往復81.5便 (平成27年3月時点)	往復81.5便	往復64便 (令和6年3月時点)
	高松空港の利用者数	173万人 (平成26年度)	199万人	1,812,799人 (令和5年度)
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	圏域全体の合計特殊出生率 (各市町の加重平均での参考値)	1.55 (平成22年)	1.70程度	1.47 ※3 (平成30～令和4年度)
	圏域全体での若者世代（25～39歳）の人口	110,996人 (平成22年10月1日時点)	8万人程度	74,491人 ※4 (令和5年10月1日時点)

平成28年度～令和5年度の8年間のまとめ

○成果指標（KPI）の達成状況

- ・ 7項目の成果指標のうち、目標を達成した項目は「香川県への再来訪意向割合」の1項目
- ・ 次の成果指標は、人口が想定以上に減少する中、基準値（H28.3ビジョン策定時）より増加
 - － 「JR高松駅」と「ことでん瓦町駅」の1日平均乗降人員数
 - － 高松空港の利用者数

○見えてきた課題と必要な視点

圏域における民営事業所の従業者数の目標未達

→生産年齢人口の定着及び民間事業者の誘致が必要

少子・超高齢社会の進行、出生数の減少

→少子化対策、子育て支援策の充実が必要

圏域の若者人口（25～39歳）の減少

→若者の地元での定着や交流人口及び関係人口の拡大が必要

広域的な視点で課題解決する仕組みづくりが必要

上記を踏まえて「第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン」を推進（R6.4～）

第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン（令和6年度～10年度）における評価方法

項目	令和5年度まで	令和6年度以降
評価基準・項目	高松市・連携市町で 異なる →同様の取組実績に関わらず、市町間で評価結果に差が生じている場合がある。	高松市・連携市町で 統一
成果指標（KPI） 設定事業の評価	高松市： 客観評価 連携市町： 主観評価	高松市・連携市町の「成果の達成度」評価に KPI達成率（ 客観評価 ）を反映
効率性	連携市町に項目なし →費用対効果の視点が不足	高松市・連携市町に「効率性」評価を導入
総合評価	なし	高松市・連携市町（事業により1～7市町）の 合計評価点数の得点率から、取組事業の総合評価を決定
評価基準	A,B,C,Dの 4段階 （得点率 A=100～86%、B=85～71%、C=70～56%、D=55～0%）	A,B,Cの 3段階 （得点率 A=100～80%、B=79～60%、C=59～0%） →得点率に応じた区分を15%→20%刻みにすることで直感的に分かりやすくシンプルな評価区分に

メリット

- ・連携事業に対する評価が1つとなり、より分かりやすい評価となる。
- ・連携市町全体で評価を実施するため、各連携事業の総合評価が可能。

第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン（令和6年度～10年度）における評価方法

評価項目（高松市・連携市町同一）

※成果の達成率が100%を超えた場合でも、点数の上限は70点。
総得点は100点を超えない。

評価		KPI設定事業	KPI設定対象外事業
成果の達成度	成果に対する達成度はどうだったか	70×達成率	—
妥当性評価	事業の目的・手法は圏域住民ニーズや社会情勢に照らして、妥当か		
	A 妥当である	10	10
	B 市民からの要望等が寄せられている等、改善の余地がある	7	7
	C 利用者が少ない等、大幅な見直しが必要である	4	4
	D 圏域住民ニーズに合っていない	0	0
有効性評価	圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化又は圏域全体の生活関連機能サービスの向上に貢献しているか		
	A 貢献が大きい	10	10
	B 貢献が中程度／義務的事業	7	7
	C 貢献が小さい	4	4
	D 全く貢献していない	0	0
効率性評価	費用対効果はどうだったか		
	A 向上している	10	10
	B 同程度	7	7
	C 低下している	4	4
	D 10%以上低下している	0	0
総合評価	総得点	100	30
	A 得点率が総得点の80%以上である	80以上	24以上
	B 得点率が総得点の60%以上80%未満である	60-79	18-23
	C 得点率が総得点の60%未満である	0-59	0-17

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の新規事業 (令和7年度以降実施分)



① 【新規】官民共創ビジネスマッチング事業

○：連携済、●：新規、◎：拡充

連携協約項目		1 圏域全体の経済成長のけん引 ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大						
連携する市町		さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
							●	●
協議結果		R7年度 直島町及び綾川町と連携 (他市町は、R8年度以降の連携を検討)						
事業概要		官民共創を推進するため、関西圏を中心とした大都市圏における、民間事業者と自治体等とのビジネスマッチングイベントに連携して参加し、PRするもの。						
連携して得られる成果		各自治体がイベントにPRブースを出展することで、圏域内の交流人口や関係人口の拡大はもとより、地域課題の解決に向けた実証事業の実施や、地域資源を活用した商品・サービスの開発、特産品の販路拡大が可能となり、選ばれる圏域づくりにつながる。						
役割分担及び費用負担の考え方	高松市	イベント出展に向けたコワーキングスペース運営法人や連携市町との連絡調整						
	連携市町	イベント出展						



ビジネスマッチングイベント

成果指標（KPI）
イベントへの参加市町数
R6年度：1市町 R10年度：4市町

連携事業数

<連携事業数>

役割	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 7 年度の新規事業名
1 圏域全体の経済成長のけん引	8 事業	9 事業 (+1)	官民共創ビジネスマッチング事業
2 高次都市機能の集積・強化	5 事業	5 事業	
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	4 8 事業	4 8 事業	
合計	6 1 事業	6 2 事業 (+1)	

<今後の予定>

- 令和 7 年 3 月 「第 2 期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン」に新規事業 1 件を追加
(令和 7 年度版改定版の作成)